

# 土屋正忠 後援会ニュース

平成21年8月3日発行 ■第97号 土屋正忠後援会事務局

## 永田町日誌 4年間の歩み

◆平成17年◆  
●9月当選。新人議員「83会」結成、会長に就任。  
●療養病床削減問題に反対。議員連盟を結成し、厚生労働省案を押し返す。  
●耐震偽装問題の調査チームに。



子どもを守るケータイフィルタリングを各社長に申し入れ

臣(当時)に提言。  
●東京港を「スーパー中枢港湾」と提言。  
●「子どもは宝プロジェクト」事務局長に就任。虐待防止対策に予算確保。  
●安倍内閣で、総務大臣政務官に就任。(以下★は政務官として実現)  
●「頑張る地方応援プログラム」を創設し、全国1800市町村を支援。  
●夕張市の再建チームリーダーに。  
●子どもを守るケータイフィルタリングを実現(写真)。



コミュニティバスの根拠法を作る

◆平成19年◆  
★美しい国土づくり。  
●河川、里山、海岸をきれいに。  
●環境省他7省庁と全国市長会をつなぐ。  
★家具の転倒防止対策を全



長寿医療の保険料引き下げを各市長と舛添大臣に申し入れ1人5000円の引き下げを実現

◆平成20年◆  
●国に展開。  
●JR中央線下り線高架化を実現。  
●コミュニティバスの根拠法を議員立法で制定。予算措置も(写真)。  
●府中の療育センターを視察。障害者自立支援法の改正に役立てる。  
●長寿医療の実施にあたって、都民の保険料引き下げを舛添厚労大臣に要請(写真)。



開かずの踏切解消へガソリン税を700億円投入

◆平成21年◆  
●「太陽光発電世界2」を目指す予算措置と税制を



府中市西府駅開業をバックアップ

●ソマリア沖海賊対策を強力に推進。新法制定。  
●消費者庁設置、ムタ撲滅、ヤミ専従撲滅などのプロジェクトチームで活躍。  
●平成22年スタートの「中期防衛計画」小委員会委員として毎週審議中。  
●都市農業振興のための税制改正に取り組み実現。  
◆編集後記◆  
●衆議院が解散し投票日が8月30日(日)と決まりました。この号が「期目のしめくくりのニュースとなりました。四年間を振り返り紙面をつくりました。  
●今秋以降も現職として活動を続けられるよう、皆様のご支援をお願いいたします。

## 四年間のご支援に感謝し再び挑戦!! 国も市も企業も責任を持って経営することが大切です

任期満了が目前に迫りました。四年間のご支援に深く感謝申し上げます。ともに、ここに改めて私の衆議院議員としての活動をご報告いたします。  
私が衆議院議員として四年間心がけてきたのは次のような事です。

### ① つくる政治ー 国家を経営する

悪口や批判、反対することは簡単です。しかし、国も、市も企業も、誰かが責任を持つ

### ② 政策に上下なしー 毎朝8時から各分野の政策形成に全力を挙げました

ち、継続し経営していくことが大切です。1億2000万人の国民の生活を支え、生命と財産を守り続けていくことが政権政党の責任です。

自民党は自由闊達な開かれた政党です。「政策に上下なし」がモットーです。毎朝開催される自民党の政務調査会の各分野別の部会には、議員なら誰もが出席でき、新人も自由に発言することができます。私も毎朝7時の電車で自宅から通勤し、政策提言を続けました。

### ③ 市長22年の経験を活かす

医療、年金、介護、地域福

### ④ 骨太の政治を有権者に届けるー レポート発行

今、政治で何が課題となっているか、私は何に関心を持ち、どのような発言をしたのか、それを有権者に報告する。マスコミの興味本位だけでなく骨太の情報を有権者に届けました。  
●国会レポート 11号発行、1回20万枚以上、計250万枚を新聞折込他で

### ⑤ 政治資金を明解に

市議、市長時代からのカンパとボランティアの政治を衆議院議員になっても続けていきます。地元の事務所費やスタッフの人件費、レポートや通信等、市長時代の10倍の経費がかかりますが、カンパとボランティアの政治を貫きたいと思

私は再び挑戦し、国民の皆様の期待にお応えしたいと決意しています。

## 土屋正忠

# 力点はここだ!!! 私の4年間の活動報告



4年間の衆議院議員としての活動で、私が最も力を入れて取り組んできた、子育て、教育、社会保障、国防、環境、行政改革の骨子と問題点をご報告します。なお、**社会保障**については、国会レポート第11号をご参照ください。



## 行革 社保庁改革を断行、国民の年金受給権を保障します

国民の皆様にご不信と不安を与えた年金問題は自民党の責任です。

全加入者に、年金特別便を発送し、ご協力を得て、年金受給権を最大限に保障します。ずさんな年金管理をしていた社保庁を解体し、日本年金機構をつくり17000人の職員を11000人に削減しました。自治労など合理化反対の組合幹部は、新職場には移行させません。

## 郵政民営化の成果 日本郵政4300億円納税

小泉内閣の公約の郵政民営化を着々と進めています。全国どこでも均一料金で届く明治以来140年の歴史を大切にしながら、ゆうちょ銀行やかんぽ生命保険等、民営化を進め、ついに4300億円の納税をする会社に生まれ変わりつつあります。特定郵便局長など心ある20万人の職員の活躍に期待!

## 4000万円高額退職金闘争の市長経験を活かす 一国の行革をリード

私の行政改革の原点は、昭和58年に全国の自治労と闘った4000万円の高額退職金引き下げ闘争でした(写真)。

ムダ遣い撲滅、組合役員のヤミ専従撲滅など、行政改革や定数削減等、武蔵野市長の経験を活かして、全力で取り組んでいます。



昭和58年 全国から退職金引き下げ反対に集結した2000人の自治労の組合員



## 「早寝、早起き、朝ご飯」世界一の学力を目指そう! 一長期自然体験教育を学習指導要領に盛り込む

文科省が推進する「早寝、早起き、朝ご飯」。この成果が最も表れたのが秋田県で、全国学力テストで一番だったのです。背景を調査すると、家族と一緒に食事をし、テレビを見る時間も少ないという実態がわかりました。教育の原点は家庭にあって、学校と地域が協力して、本気で教育に取り組む、国民的な目標と気概が大切です。

●教育基本法を60年振りに全面改正し、国を愛する心、伝統と文化、生命や自然を大切にす

- 学習指導要領を改訂し、読み・書き・計算などの基本を重視し、授業時間数を約1.2倍に増やしました。
  - 私が武蔵野市長時代から、中央教育審議会等で、強く主張してきた、長期自然体験教育を学習指導要領に盛り込み、全国で実施することになりました。
  - 教員免許の更新制度をつくりました。
  - 校舎の耐震改修や、特別支援教育の充実、幼児教育の無料化、スポーツの充実等、多面的に取り組んでいます。
- 府中、小金井、武蔵野の各市の教育は各々安定し、質の高い活気に満ちた実践が行われています。「こどもは宝」をモットーに、全力で取り組みます。



長期自然体験教育=武蔵野市セカンドスクール



## 地球環境対策で世界をリードしよう! 一トヨタ・プリウス注文18万台、ホンダ・インサイト5万台

日本の誇るハイブリッド車が快調な売れ行きです。プリウスとインサイト、各々月産台数の数ヶ月分の受注です。エコポイント家電のエアコン、冷蔵庫、地上デジタル対応テレビの売り上げも好調です。

太陽光発電も3kw/hの家庭用、30kw/h~数千kw/hの業務用メガソーラーも着々です。小金井市にオープンしたイトーヨーカ堂も取り入れました。

原子力も快調で、中国の原子力発電の受注は、日本のメーカーが主力です。世界中で東芝、日立、三菱重工の三社が主要な原子力発電メーカーなのです。耐震にも十分に配慮して頑張ってほしいと思います。

地球環境対策で世界をリードしよう。人類の未来のために。



エコカー試乗会で麻生総理と



## 日本の独立と平和のために自らの手で国と家族を守る 一中国の軍事力20年間で20倍

小泉改革の光と影、この数年、財政再建のため、日本の軍事費は横這い。10年前を100とすると109でわずか9%の伸びです。一方、中国は毎年、対前年比二桁、年によっては20%超の伸びを示し、過去20年間で20倍になりました。原子力潜水艦が就航し空母の建設も予定され、東シナ海やマラッカ海峡は完全に制海権を握っていると言われています。日本列島の太平洋側にも進出してきています。

●「太平洋のハワイの東側はアメリカ、西側は中国が制海し管理しましょう」—中国の軍人の言葉を、米海軍の将校が米国連邦議会で証言しました。

●「日本という国家は2050年に存在しているのだろうか」—十年前に中国の江沢民主席が語った言葉です。

永遠の隣国、中国の膨張主義とどう付き合うのか、アメリカの経済はこれからも日本の12倍、60兆円の軍事費に耐えられるのか。

「備えよ、そして信頼せよ—対中国」  
「自立せよ、そして同盟せよ—対米国」  
北朝鮮の脅威を含め、日本の独立と平和のために『国防』と向き合ひましょう。

私は4年間で50回以上国防部に出席して、日本の防衛力強化を主張しています。

